



# 令和7年度のまとめ

## 令和7年度 協議会関連活動実績

全体会合**2回**開催、**3つ**の分科会を発足・運営  
 各分科会とも初回は都と公募の採択事業者の代表企業とで実施、  
 第2回は、他の事業者やステークホルダー等も交えた検討を実施

会議体	2025										2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
全体会合				●							★		
第一分科会 都心型水素利活用体制構 築に向けた検討分科会				事 業 採 択	●			●			本会議	●	
第二分科会 空港内エリアにおける水 素利活用検討分科会					●				●				●
第三分科会 空港臨海部全域における 高圧水素パイプライン構 築に向けた検討分科会					●				●				●

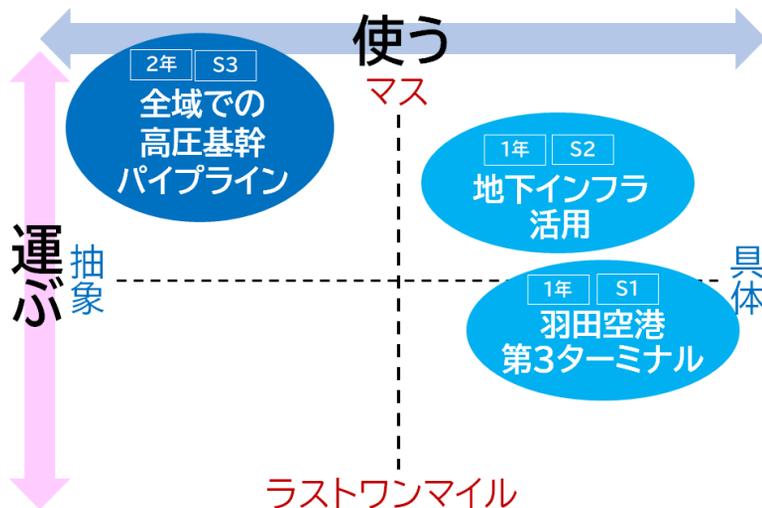
全体会合

- 公募の採択事業者による発表及びテーマを設定した意見交換
- 協議会構成企業の水素関連ビジネスの推進に寄与するため、公募の採択事業者から各社に裨益する調査結果や進捗を共有
- 第一回では、水素の純度をテーマとして、水素供給側、水素利用側それぞれの視点から活発な意見交換を実施
- 第二回(本会議)も、第一回に続き、水素の付臭をテーマに意見交換を実施



分科会

公募の採択事業者のうち、具体的な需要の解像度の高さや影響の大きさという切り口から3つの分科会を設置



**第一分科会:空港臨海部における地下インフラを活用したパイプライン等による水素供給体制構築に向けた検討**

- 参加社数:14社
- 議論内容:パイプラインの仕様、地下空間、想定需要家 等

**第二分科会:東京国際空港(羽田空港)第3ターミナルにおける水素利活用実現に向けた検討**

- 参加社数:17社
- 議論内容:水素の調達方法、活用先、安全性 等

**第三分科会:空港臨海部全域における高圧水素の基幹パイプライン構築に向けた検討**

- 参加社数:13社
- 議論内容:パイプラインの仕様、法制度、事業化、コスト・安全性の確保 等

**追加実施**

**分科会合同プロジェクト**

- 公募の採択事業者による複数プロジェクトが同時進行で進んでいることを踏まえ、設置した3つの分科会での**取り組み状況の共有、共通認識化**を図るため、各分科会の幹事企業等による合同プロジェクトを実施
- 1月上旬に開催し、各分科会の幹事企業を中心に9社が参加
- 各分科会の取組状況の共有を行うとともに、水素パイプラインが適用される**法規制を主題**として意見交換を実施



# 令和8年度の 東京都の取組

## 令和8年度の東京都の取組

令和8年度の水素関連事業予算は、今年度を上回る**165億円**規模

■ **水素エネルギーの社会実装化** ⑧165億円（⑦160億円）

➤ **中央防波堤埋立地におけるグリーン水素の製造・利活用事業【産労】**

⑧11億円（⑦1億円）

中央防波堤埋立地において太陽光発電を活用したグリーン水素製造施設整備に向け、実施設計等に着手するとともに、水素製造過程で発生する副生酸素の有効活用調査等を実施

### グリーン水素の製造に向けて

	8年度	9年度	10年度～	
主な取組内容	実施設計等	整備工事	稼働	<b>総事業費</b> 最大120億円程度 （金額は今後精査）



国内初の取組として、敷地内の太陽光発電の電力のみで大規模にグリーン水素を製造

**新** ➤ **地産地消型水素ステーション導入促進事業【産労】** ⑧1億円（新規）

民間企業と共同で水素ステーション整備や新たなビジネスモデルの構築に向けた検討を行うことで、地産地消型水素ステーションの導入を促進

## ■ 水素エネルギーの社会実装化

⑧165億円 (⑦160億円)

### ➢ 燃料電池等トラック実装支援事業【産労】

⑧2億円 (⑦57億円)

燃料電池等トラックの導入費・燃料費に対する補助に加え、将来的な車種拡大に向けて、都内事業者の需要が高い車種等をFC車両に改造して導入効果の検証等を行う民間企業との共同事業を実施

### ➢ 水素ステーション設備等導入促進事業【産労】

⑧63億円 (⑦4億円)

燃料電池商用車対応に必要な増設や運営費等の支援、地産地消型水素ステーション整備に向けた水素EMSや水電解装置の支援に加え、水素トレーラーの導入費や、中小事業者に対する増設等に伴う休業支援など、補助内容を拡充

### ➢ 水素モビリティ・ステーション普及加速化総合支援事業【産労】

⑧3億円 (⑦2億円)

モビリティの需要創出とステーションとのマッチング等の一体的支援により、モビリティ分野の水素の普及を促進するとともに、「TOKYO H2プロジェクト」を更に推進するため、官民連携で普及啓発に係る共同事業を実施

## ■ 水素エネルギーの社会実装化

⑧165億円 (⑦160億円)

### ➢ グリーン水素の活用事業【産労】

⑧4億円 (⑦1億円)

グリーン水素の本格活用に向けて、東京都産グリーン水素を都有施設等で活用して広くPRするほか、森ヶ崎水再生センターのバイオマス由来のCO<sub>2</sub>からグリーンメタンのトライアル製造を実施

### ➢ 水素の社会実装化に向けた国際連携推進事業【産労】

⑧3億円 (⑦5億円)

水素国際会議の開催による参加都市等との連携強化に加え、水素関連の海外展示会に都内中小企業とともに出展し、都の施策や水素関連技術をPRすることで、国際サプライチェーン構築等に向けた取組を推進

など

※水素パイプライン関係

事項名	令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	増△減	概要
(9) グリーン水素の産業利用促進事業	166,000	80,000	86,000	1 グリーン水素の産業利用促進事業
(10) 中央防波堤埋立地におけるグリーン水素の製造・利活用事業	1,061,778	105,717	956,061	1 中央防波堤埋立地におけるグリーン水素の製造・利活用事業
(11) グリーン水素率先利用事業者認証事業	46,366	78,890	△32,524	1 グリーン水素率先利用事業者認証事業
(12) グリーン水素取引推進事業	416,591	394,851	21,740	1 グリーン水素取引推進事業
(13) パイプラインを含めた水素供給体制構築事業	321,623	221,623	100,000	1 パイプラインを含めた水素供給体制構築事業
(14) 東京における水素実装課題解決技術開発促進事業	215,175	130,363	84,812	1 東京における水素実装課題解決技術開発促進事業
(15) 新エネルギー推進に係る技術開発支援事業	3,945,629	6,219,076	△2,273,447	1 新エネルギー推進に係る技術開発支援事業
(16) 東京都環境科学研究所水素エネルギー調査研究	24,580	25,819	△1,239	1 東京都環境科学研究所水素エネルギー調査研究

令和8年度の協議会について

■全体会合

⇒ 令和7年度と同様に年2回の開催を予定

■分科会

⇒ 令和7年度の分科会は3月末で終了し、  
令和8年度の公募の採択結果を踏まえ再組成



令和8年度も令和7年度と同規模での実施を検討中  
詳細は、4月以降に東京都HP等で公表予定

令和7年度 公募(参考)

募集期間	令和7年5月28日～令和7年6月30日
予算額	1年コース:1億2,500万円 2年コース:1億7,500万円
採択数	1年コース:3事業、2年コース:1事業
対象事業	<ul style="list-style-type: none"><li>● 空港臨海部の特定のエリアを対象とした水素供給・水素利用に関する検討(点を作る:ステージ1)</li><li>● 空港臨海部の広域を対象とした水素供給・水素利用に関する検討(点を大きくする:ステージ2)</li><li>● 空港臨海部全域における最適な水素パイプライン構築に向けた検討(点をつなぐ:ステージ3)</li></ul>